

Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

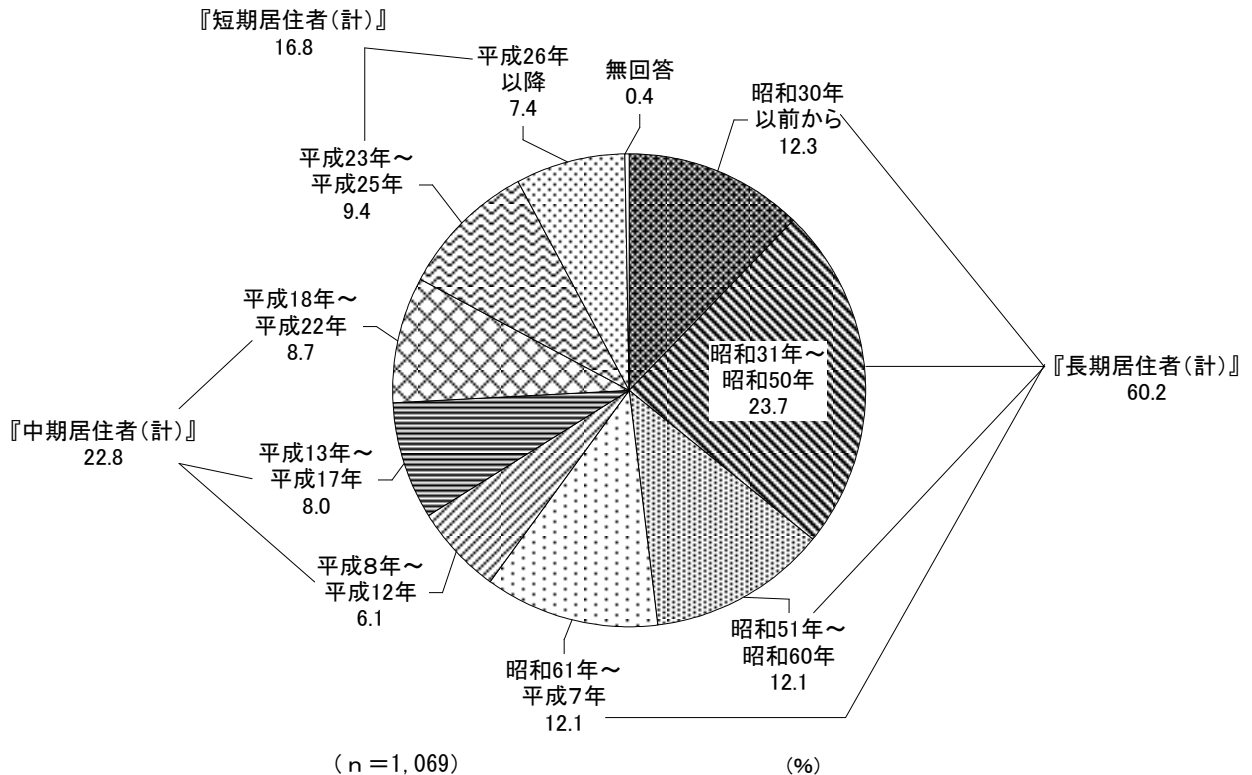
1. 定住性

(1) 居住開始時期

◇「平成7年以前から住んでいる方」を表す『長期居住者(計)』は6割

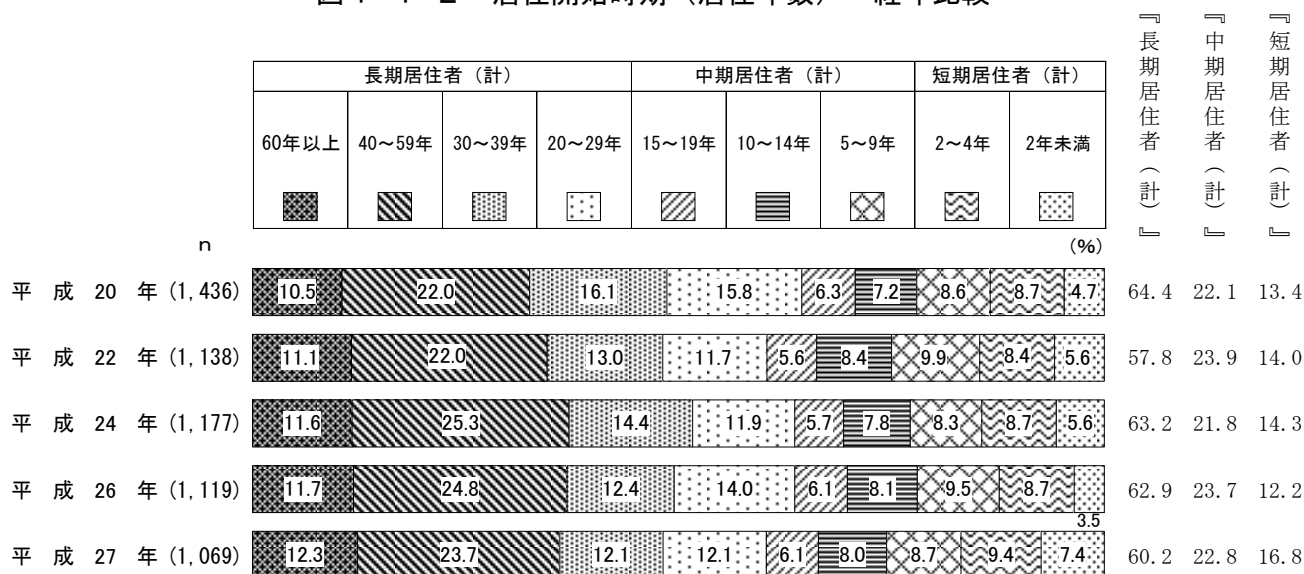
問1 あなたは、いつ頃から大田区に住んでいますか。(○は1つだけ)

図1-1-1



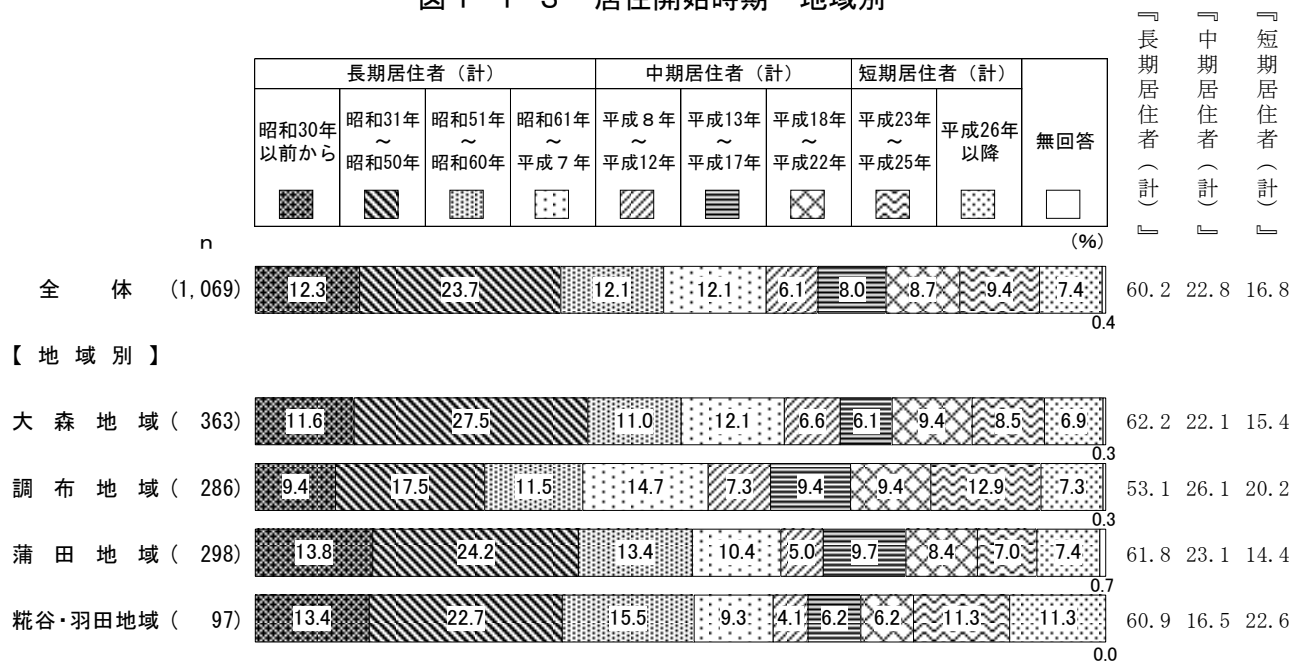
居住開始時期を聞いたところ、「昭和31年～昭和50年」(23.7%)が2割を超えて最も高く、これに「昭和30年以前から」(12.3%)、「昭和51年～昭和60年」(12.1%)、「昭和61年～平成7年」(12.1%)を合わせた『長期居住者(計)(居住年数20年以上)』(60.2%)は6割となっている。また、「平成8年～平成12年」(6.1%)、「平成13年～平成17年」(8.0%)、「平成18年～平成22年」(8.7%)を合わせた『中期居住者(計)(居住年数5年以上20年未満)』(22.8%)は2割を超え、「平成23年～平成25年」(9.4%)と「平成26年以降」(7.4%)を合わせた『短期居住者(計)(居住年数5年未満)』(16.8%)は2割近くとなっている。(図1-1-1)

図 1-1-2 居住開始時期（居住年数）一経年比較



大田区への居住開始時期を居住年数に換算して経年比較をした。『長期居住者（計）』は平成24年以降減少傾向にあり、前回より2.7ポイント減少している。また、『中期居住者（計）』は前回より微減、『短期居住者（計）』は前回より4.6ポイント増加している。（図1-1-2）

図 1-1-3 居住開始時期一地域別



地域別で見ると、『長期居住者（計）』は調布地域（53.1%）を除く全ての地域で6割台と高くなっている。一方、『短期居住者（計）』は糞谷・羽田地域（22.6%）で2割を超えている。

（図1-1-3）

図 1-1-4 居住開始時期—地域別（経年比較）



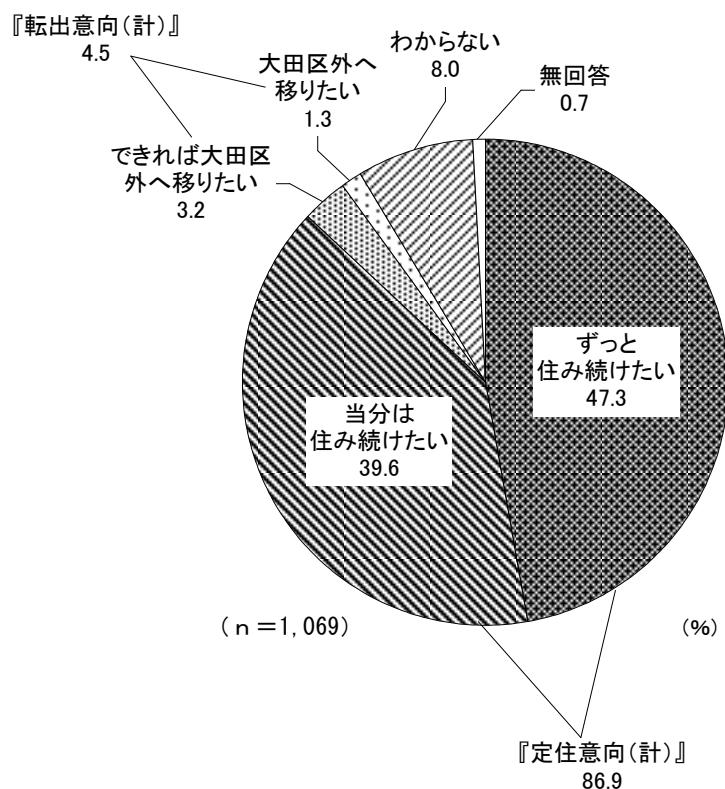
地域別に経年比較すると、『長期居住者（計）』は糀谷・羽田地域で前回より 11.1 ポイント、調布地域で前回より 5.1 ポイント、それぞれ減少している。また、『中期居住者（計）』は糀谷・羽田地域で前回より 6.9 ポイント減少、『短期居住者（計）』は糀谷・羽田地域で前回より 19.0 ポイント増加している。（図 1-1-4）

(2) 定住意向

◇「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた『定住意向(計)』は9割近く

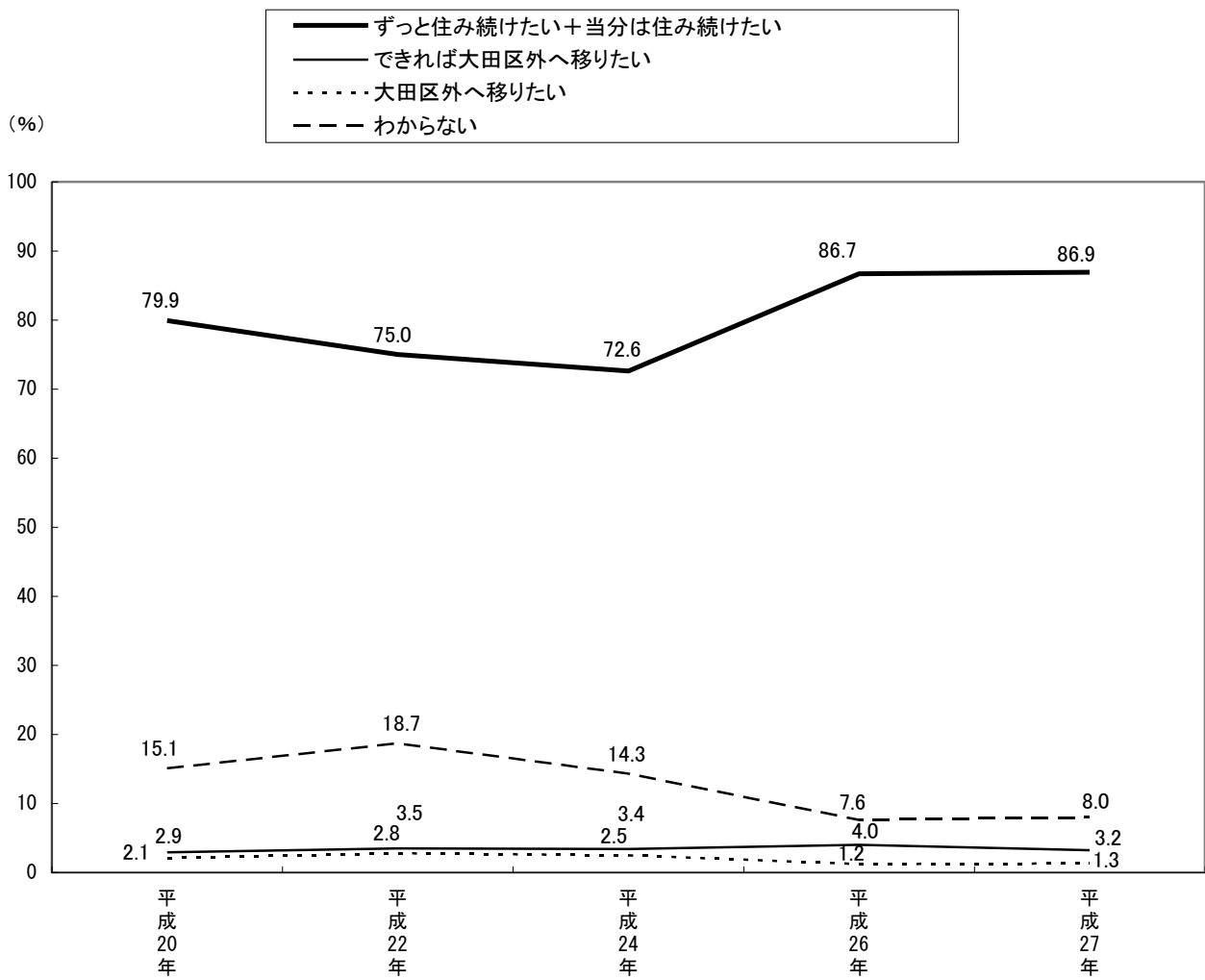
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



定住意向を聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(47.3%)が5割近くで最も高く、これに「当分は住み続けたい」(39.6%)を合わせた『定住意向(計)』(86.9%)は9割近くとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(3.2%)と「大田区外へ移りたい」(1.3%)を合わせた『転出意向(計)』(4.5%)はわずかとなっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向一経年比較



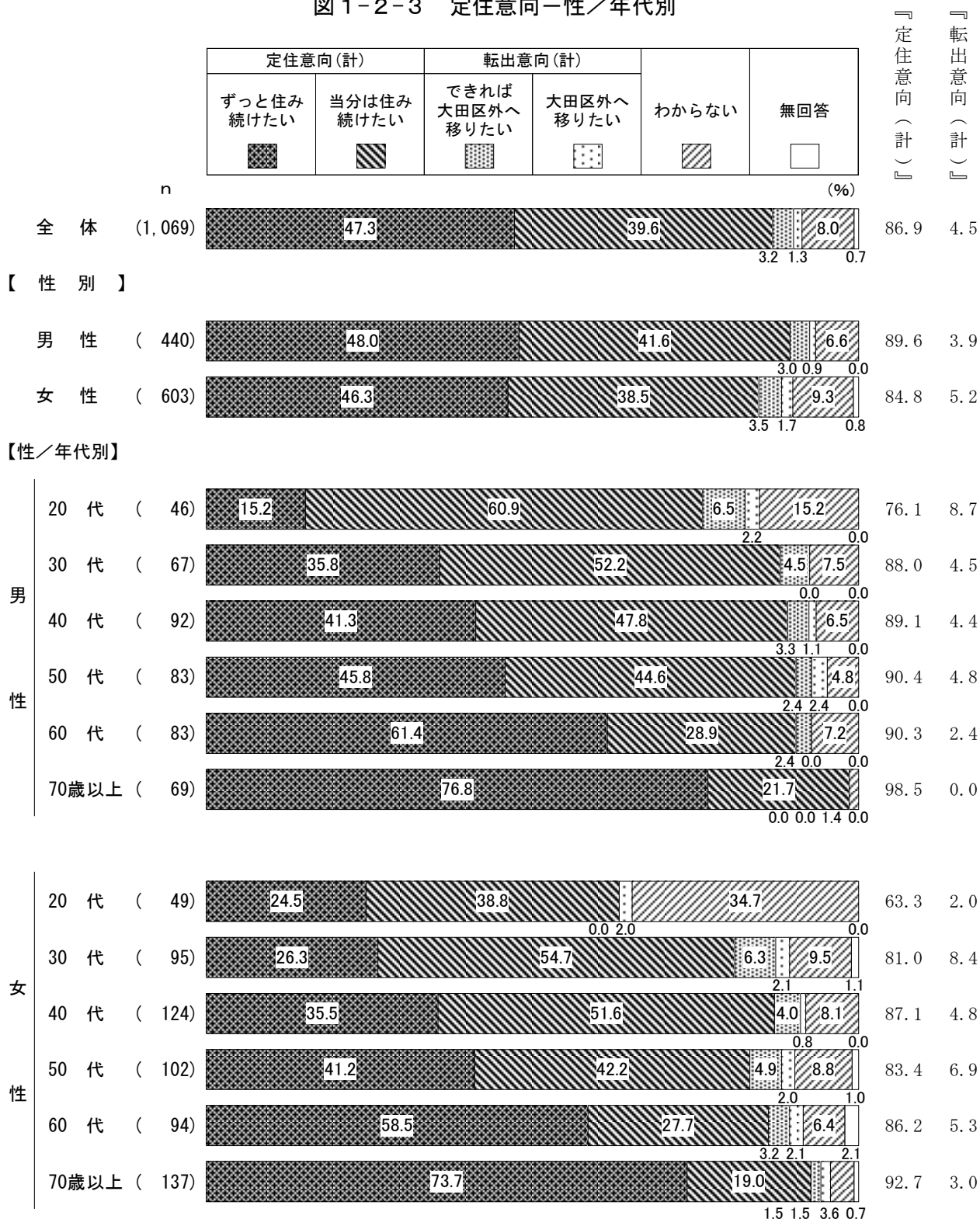
[※1]平成 26 年から選択肢を 4 肢[※2]から 5 肢へ変更したため、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合計し、平成 24 年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成 24 年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

[※2]平成 24 年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

定住意向の経年比較は、過年度の調査と選択肢を変更しているため、参考までに図示する。

(図 1-2-2)

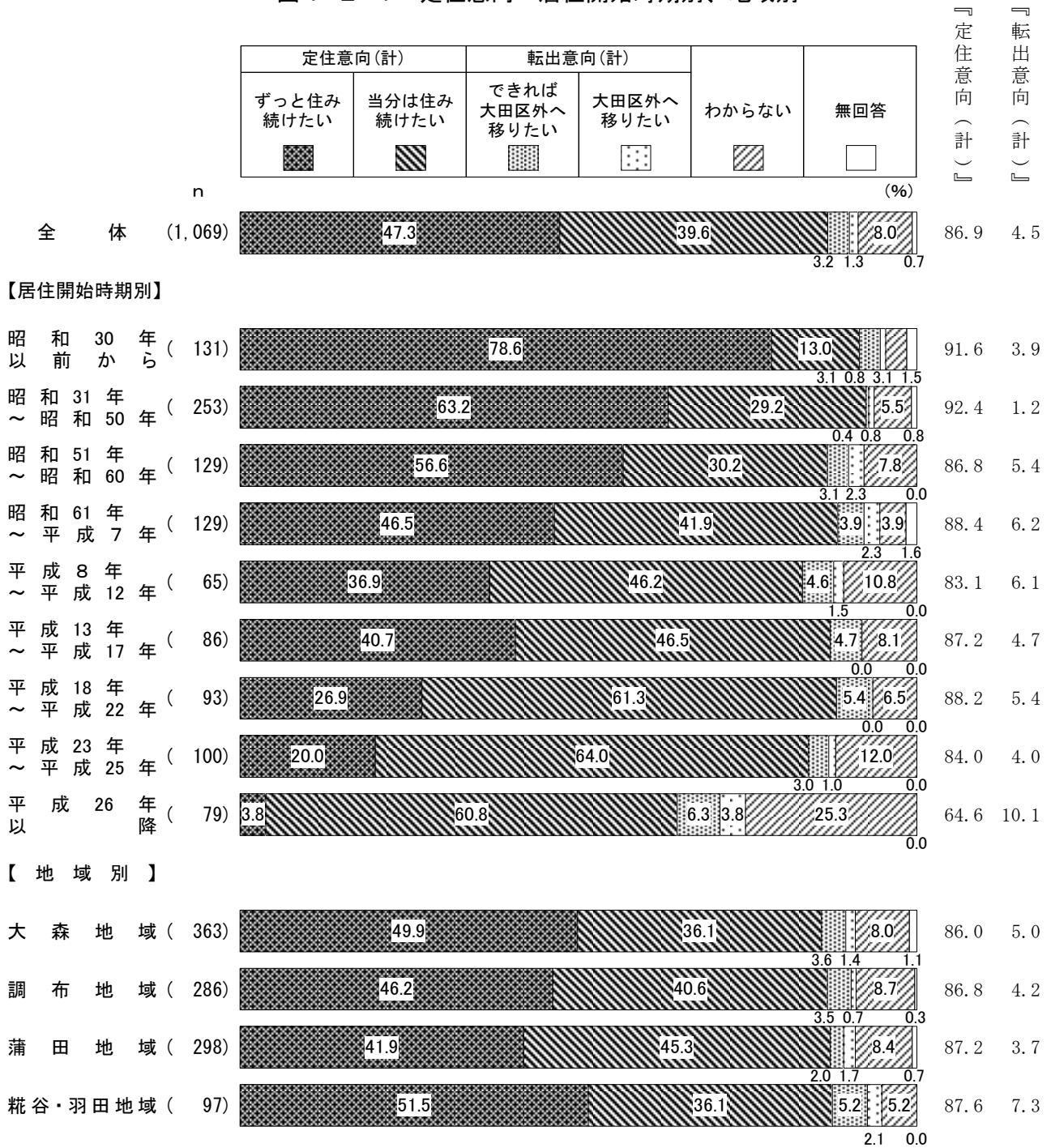
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、『定住意向(計)』は男性(89.6%)が女性(84.8%)より4.8ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともに年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上(76.8%)と女性70歳以上(73.7%)で7割台となっている。また、『定住意向(計)』は男性の50代(90.4%)、60代(90.3%)、70歳以上(98.5%)と女性70歳以上(92.7%)で9割台と高くなっている。(図1-2-3)

図 1-2-4 定住意向—居住開始時期別、地域別

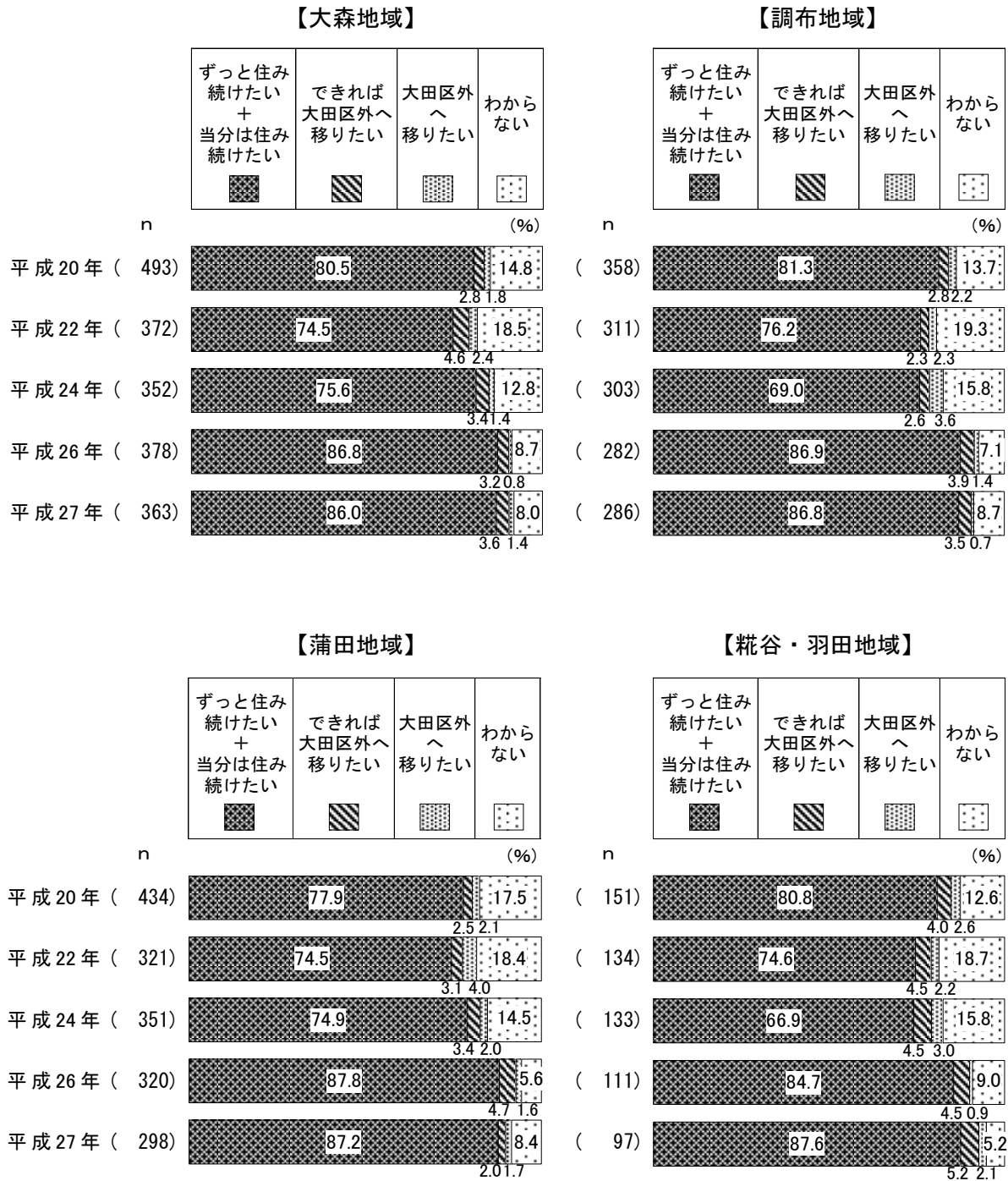


居住開始時期別で見ると、「ずっと住み続けたい」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高く、“昭和30年以前から（居住年数60年以上）”（78.6%）で8割近くとなっている。また、『定住意向（計）』は“昭和30年以前から（居住年数60年以上）”（91.6%）と“昭和31年～昭和50年（居住年数40～59年）”（92.4%）で9割を超えて高くなっている。

地域別で見ると、「ずっと住み続けたい」は糞谷・羽田地域（51.5%）で5割を超えている。

(図 1-2-4)

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



【※ 1】平成 26 年から選択肢を 4 肢【※ 2】から 5 肢へ変更したため、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合計し、平成 24 年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成 24 年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

【※ 2】平成 24 年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

地域別の定住意向の経年比較は、過年度の調査と選択肢を変更しているため、参考までに図示する。(図 1-2-5)

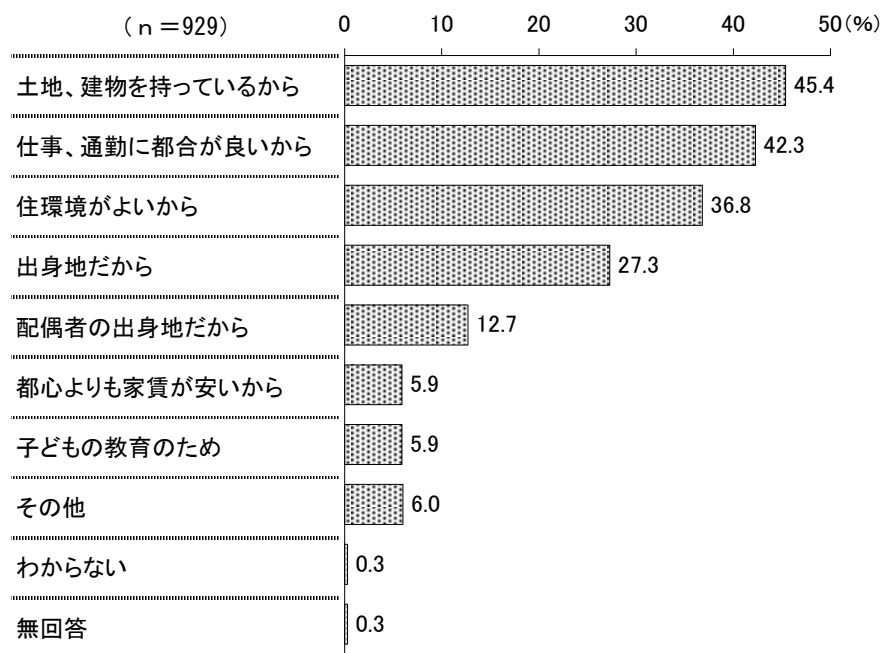
(3) 住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が4割半ば

(問2で、「1」「2」と回答した方に)

問2-1 これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

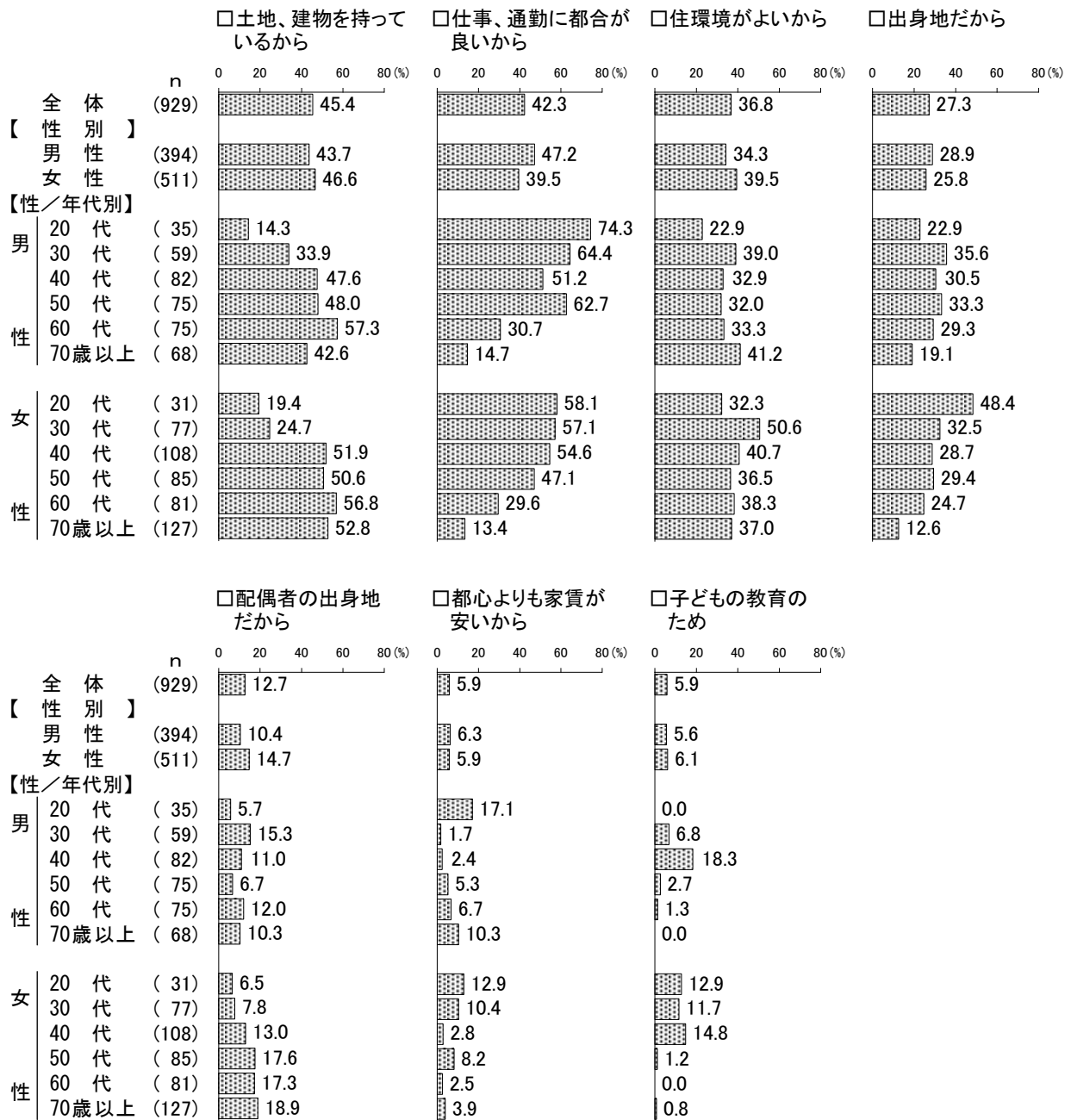
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住みたい」、「当分は住みたい」と答えた人(929人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(45.4%)が4割半ばで最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」(42.3%)、「住環境がよいから」(36.8%)、「出身地だから」(27.3%)、「配偶者の出身地だから」(12.7%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「交通の便が良い」、「地域(近所)のつながりが良い」、「親戚・友人が住んでいる」、「物価が安い」などがあげられている。(図1-3-1)

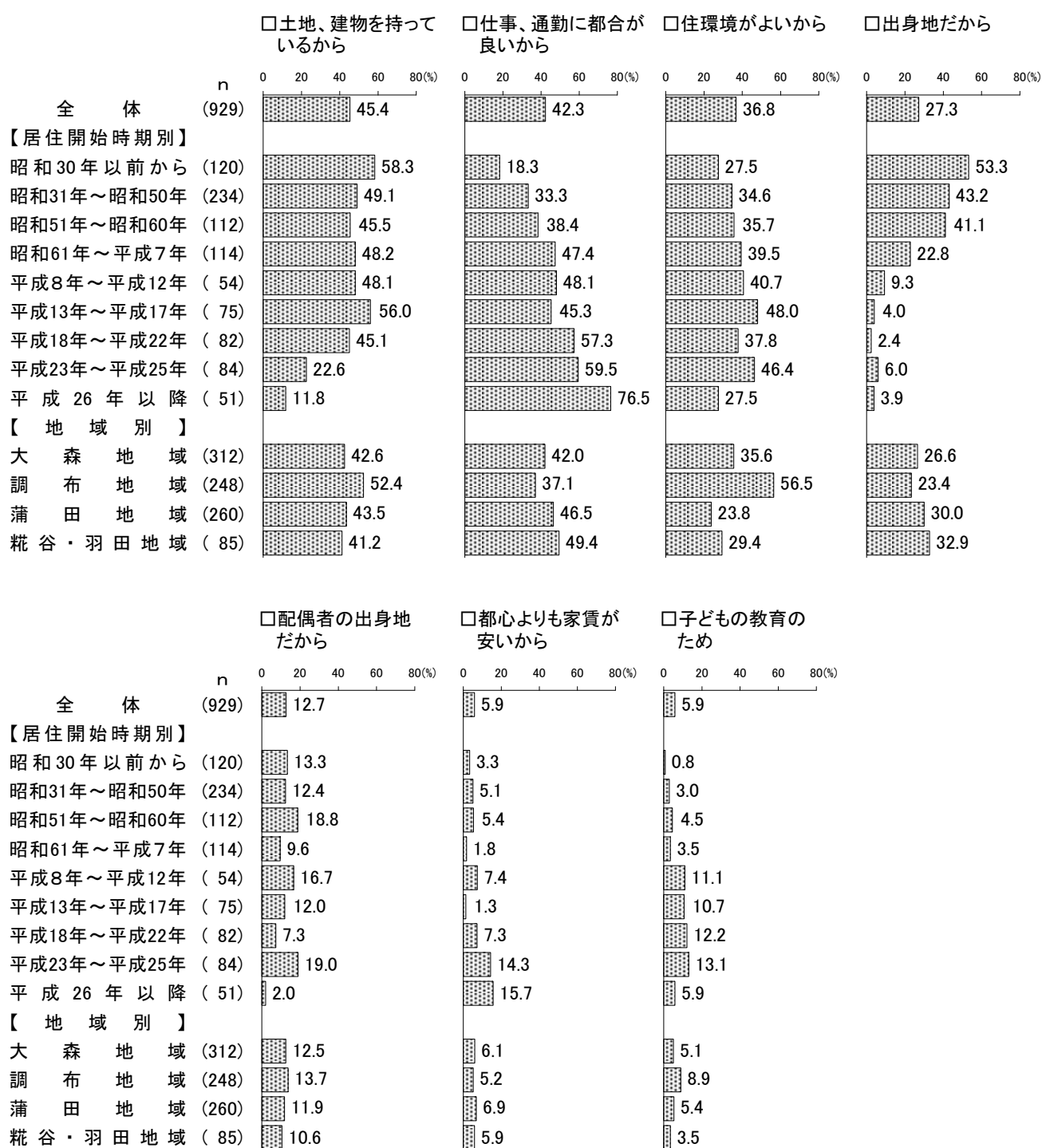
図 1-3-2 住みたい理由—性／年代別



性別でみると、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（47.2%）が女性（39.5%）より7.7ポイント高くなっている。一方、「住環境がよいから」は女性（39.5%）が男性（34.3%）より5.2ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「土地、建物を持っているから」は男性60代（57.3%）と女性60代（56.8%）で6割近くと高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男女ともにおおむね年代が低くなるほど割合が高く、男性20代（74.3%）で7割半ばとなっている。また、「出身地だから」は女性20代（48.4%）で5割近くとなっている。（図 1-3-2）

図 1-3-3 住みたい理由—居住開始時期別、地域別



居住開始時期別で見ると、「土地、建物を持っているから」は“昭和30年以前から（居住年数60年以上）”（58.3%）で6割近くと高くなっている。また、「仕事、通勤に都合が良いから」はおおむね居住年数が短くなるほど割合が高く、“平成26年以降（居住年数2年未満）”（76.5%）で8割近くとなっている。

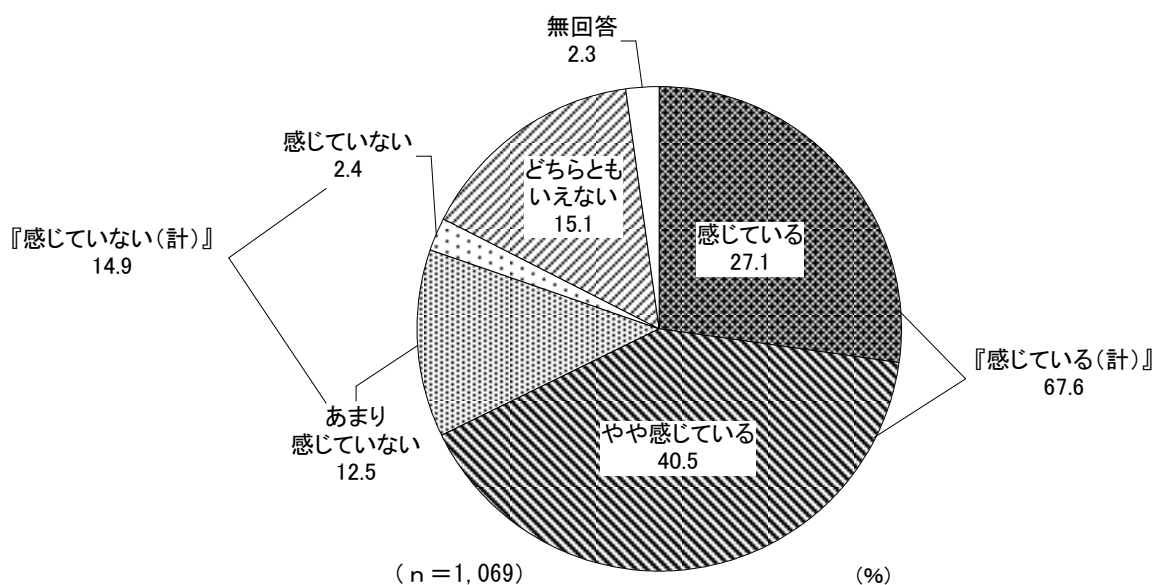
地域別で見ると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（52.4%）で5割を超え、「住環境がよいから」は調布地域（56.5%）で6割近くと高くなっている。（図1-3-3）

(4) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割近く

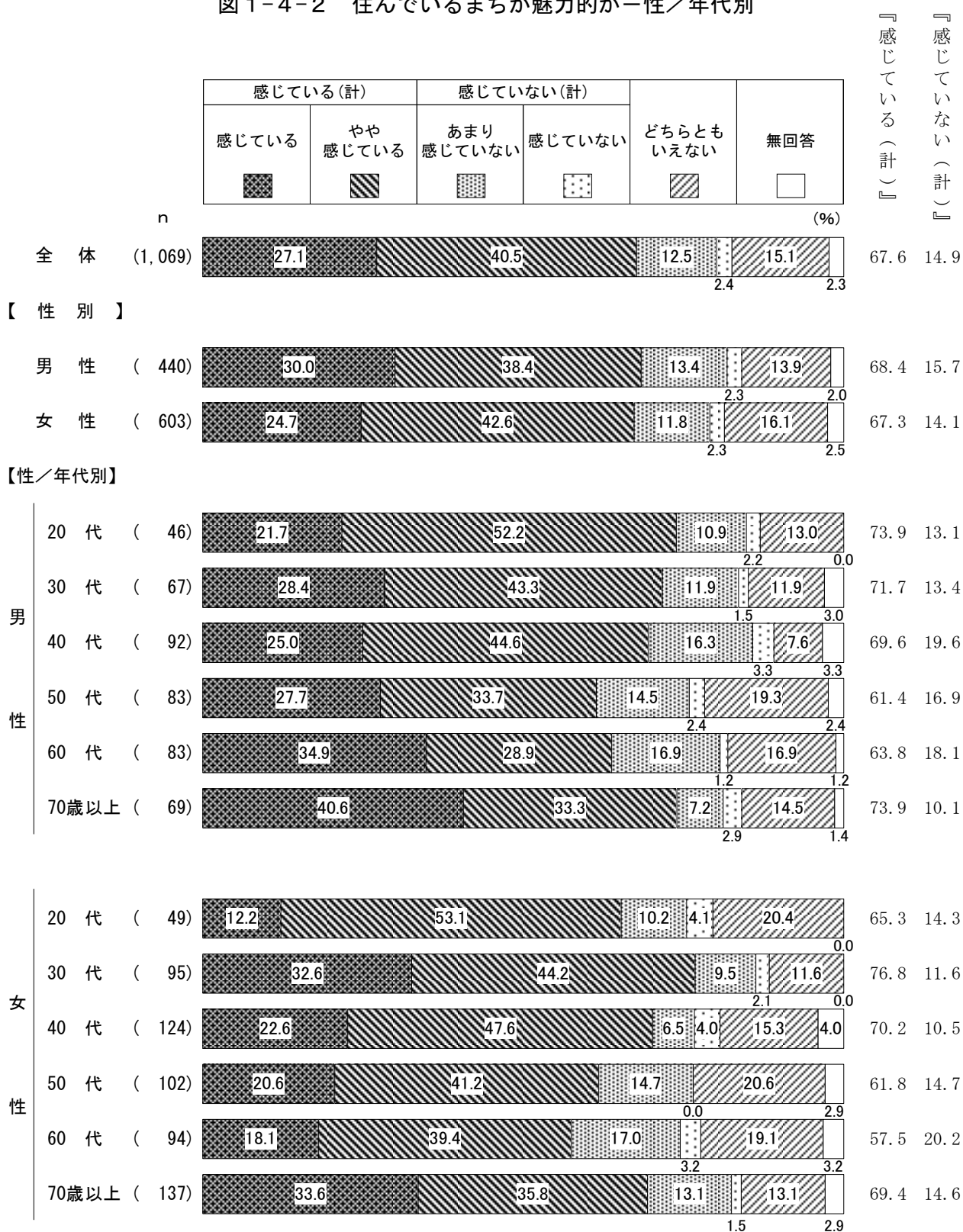
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-4-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」(40.5%)が約4割で最も高く、これに「感じている」(27.1%)を合わせた『感じている(計)』(67.6%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(12.5%)と「感じていない」(2.4%)を合わせた『感じていない(計)』(14.9%)は1割半ばとなっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別

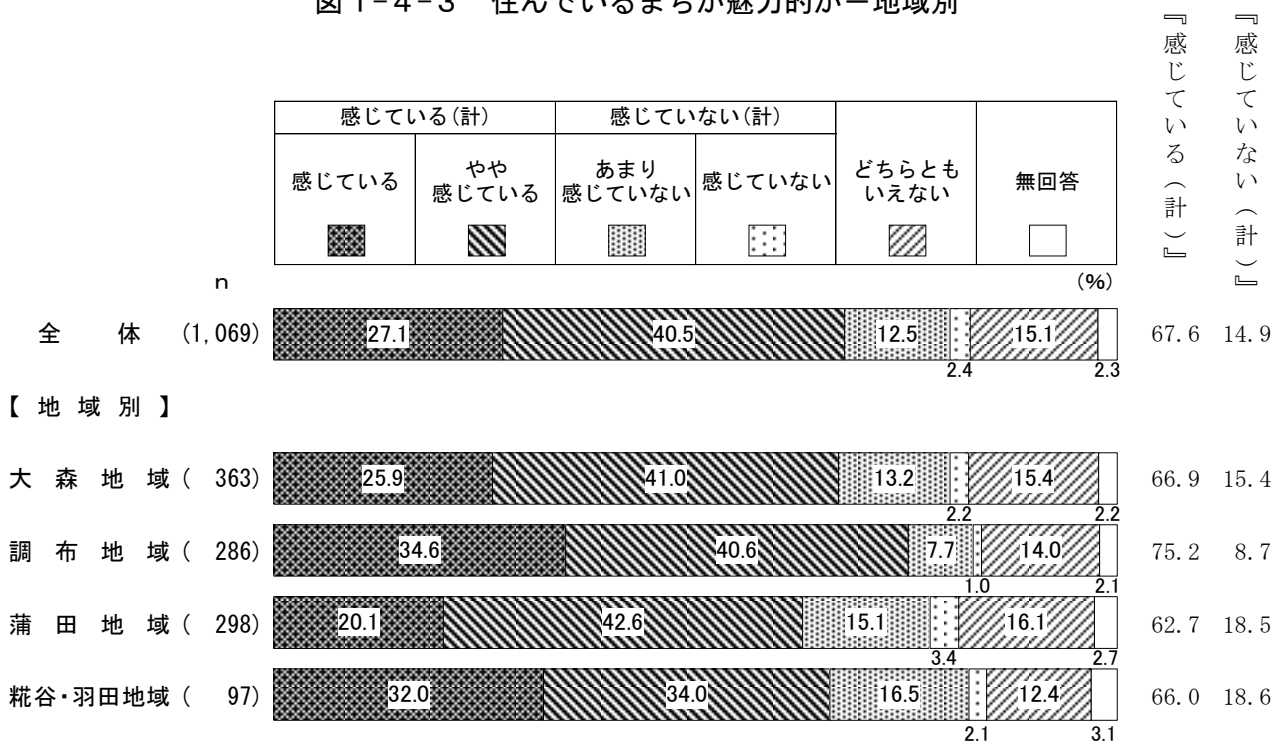


性別でみると、「感じている」は男性（30.0%）が女性（24.7%）より5.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、『感じている（計）』は女性30代（76.8%）で8割近くと高くなっている。一方、『感じていない（計）』は女性60代（20.2%）と男性40代（19.6%）で2割となっている。

（図 1-4-2）

図 1-4-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(75.2%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(18.6%)と蒲田地域(18.5%)で2割近くとなっている。(図1-4-3)